福岡県公立高校の入試選抜方法

■推薦入試

1. 推薦入試の現状

推薦入試は、各中学より学校長の推薦を受けた生徒に対して、一般入試のような学科試験ではなく、面接や作文・実技などが課される試験です。推薦入試は、普通科一般を含む多くの県立高校で実施され、各高校それぞれの特色等に応じて募集しています。

一つの中学校から同じ高校に推薦される生徒は、内申点・日頃の学校の生活態度・課外活動等を考慮して、担任の教師より推薦され、最終的に中学校全体で決定されます。学科試験が免除されるので希望する生徒が多く、競争率の高い困難な試験になっています。また、一部の県立高校で中学校長の推薦を必要としない自己推薦が実施されています。

2. 推薦入試の選考方法と内容

選考方法　面接・作文・実技試験などの結果と、中学校から提出される調査書や志願理由書などの書類と を総合して選考されます。内申点が高くないと推薦入試での合格は難しくなります。

試験内容…面接・作文・実技で実施

◆ 面接 ◆

志願者全員に対して実施される。形式には、個人面接とグループ面接がある。時間は5～10分程度。

個人面接……受験生１人に対し、数名の面接官で面接する方法。

グループ面接…受験生を何人か（３～６人程度）のグループに分け、全員に同じ質問をしたり、一つのテーマに絞り意見を述べさせたりする方法。

◆ 作文 ◆

一部の学科やコースまたは系で実施。各学校とも、字数は400～800字。時間は40～60分。

同じ学校でも、学科・コースまたは系によってテーマが異なる場合もある。作文では、思考力・独創性・人柄・意欲など、受験者の人物全体が見られるとともに、国語力も見られている。どんなテーマに対してでも、自分の意見を持ち、それを表現する力が必要である。

◆ 実技 ◆

一部の学科やコースで実施。過去に実施された内容には以下のようなものがある。

英語科・コース：英語のリスニング
体育コース：50m走や走り幅跳び、ハンドボール投げ等の基礎実技や専門種目
理数科：理科実験
美術科・コース：デッサン、水彩画
総合学科：自己表現
服飾デザイン：ミシン縫い、手縫い、アイロンがけ

3. 面接での質問内容例

志望動機	その学校を選んだ理由。自分の言葉で伝えるのがポイント。
将来の希望	相手がイメージしやすいようにできるだけ具体的に。理由も添えて。
高校の抱負	勉強・クラブ活動・文化祭などの学校行事など具体的に。
部活動	部活動名・ポジションや役割など活動を通してどんなことを学んだかを述べよう。
その他	最近のニュースで最も印象に残ったこと。趣味。特技。長所と短所について。 中学生活で最も印象に残ったことなど。

4. 作文試験のテーマ 〈令和８年度の課題例〉

高校名	課題（テーマ）		字数	時間
修猷館	資料「AIと落語家」（朝日新聞令和8年1月一部抜粋改変）を読んで、 一段落：本文中に「人間の『普遍的な笑い』」とあるが、これは「人間の普遍的な魅力」と捉えることができる。AIにはない「人間の普遍的な魅力」とは何か見聞や体験などの具体例を交えて書きなさい。 二段落：昨今インターネットやAIなどの発展により世界のどこでもリモートや動画などで授業を受けることができる中、あなたが集団で学ぶ理由とは何か。第一段落で述べたことと関連付けて書きなさい。		600字	50分
福岡	岩渕功一著『多様性とどう生きるか』からの引用。文章(A、B)を読んで、 一段落：Aをふまえて、これまで自分がまわりと「異なる」事実に直面した経験と、それにどう向き合ったか書きなさい。 二段落：A、Bの内容を踏まえて、福岡高校で「異なる」ことに直面した時、どう向き合い、どう行動するかを書きなさい。		500字	50分
筑紫丘	普通科	坪田一男『GO　OUT飛び出す人だけが成功する時代』文章を読んで、VUCA(ブーカ)の時代と呼ばれる理由を具体例をあげて説明しなさい。またこのVUCAの時代を生き抜くために必要なことはなにか。そしてそのことを培うために高校生活をどう送るか。それぞれ具体的に答えなさい。	指定なし（20行）	50分
	理数科	『AI時代の哲学』（Newton 2025/12月号から）という文章を読み、科学技術の中であなたが今、関心を持っているものを一つ述べよ。また、その科学技術のメリットと問題点を書き、問題点を解決するためにはどのようにすればよいかを考えよ。そして、あなたが今後、「研究」し、「哲学」する人となるためには、高校生活をどのように送っていきたいかを考えよ。		
明善	普通科	『他人の靴を履く』を読んで、 ①エンパシーとはどのような相手に対して何ができるようになることか。シンパシーとの違いに留意して書きなさい。 ②この文章を踏まえ本校へ入学後、どのように他者と関わり自分の夢の実現を目指していくか書きなさい。	①100字 ②500字	50分
	理数科	寺田寅彦エッセイ集『科学と科学者のはなし』(池内 了編)のホトトギスの鳴き方についての部分を読んで、 ①筆者は鳴き声の意味をどのようなものだと考えているか、それに至った経緯も含めて答えなさい。 ②研究に必要な力とはどのようなものだと考えるか、本文をふまえて答えなさい。また、その力を身につけたり伸ばしたりするためには何をするべきか、明善高校理数科に入学したと仮定して、具体例を挙げて説明しなさい。	①200字 ②400字	50分
小倉	(1)表1を見てデジタル教科書に対する不安の調査結果を説明しなさい。 (2)問1を参考にしてデジタル教科書に対する不安や課題を解決するための方法を考えて書きなさい。また、表2に触れてデジタル教科書の望ましい使用頻度を書きなさい。		(1)160字 (2)400字	50分
東筑	文章を読んで、あなたがこれまでの経験から考える学ぶこととはどういうものか、また高校生活での学びを通して自分や世界をどうやって変えていくか書きなさい。		600字～800字	60分

■特色化選抜入試

平成31年度入試より、推薦・一般入試とは別に、学校の特色にふさわしい生徒の入学を促進するため、生徒の多様な個性を積極的に評価する「特色化選抜」が、下記の学校・コースで新たに導入されました。

令和6年度入試までは、1月下旬に特色化選抜、2月上旬に推薦入学が実施されていましたが、令和7年度入学者選抜からは、特色化選抜及び推薦入学を同一日に実施しています。特色化選抜で内定にならなかった場合、一般入試に出願できます。選抜方法は、面接を行うほか、作文または実技試験を実施する学校もあります。

特色化選抜については、募集定員に占める割合の上限を県教委が定めておらず、校長の判断に任せているため、特色化選抜の合格者が募集定員全体の5～7割を占めている学校も見受けられました。
それにともない、推薦入試を実施しない学校も増えてきています。

令和9年度　推薦・特色化選抜入試日程

入学願書受付	令和9年1月20日（水）～1月28日（木）正午
面接・作文・実技試験	令和9年2月2日（火）・2月3日（水）
合格内定通知	令和9年2月10日（水）午前9時
合格者発表	令和9年3月18日（木）午前9時

■一般入試

1．選抜方法・・・学力検査と調査書（内申書）の2本立てで選抜

選抜方法は、まず学力検査の得点（300点満点／5教科×60点）と第3学年における9教科5段階評定の合計（45点満点）のそれぞれについて順位を決めます。どちらの順位も一定の範囲内（合格圏）に入っている人のグループをA群とし、A群は、調査書の記載事項に問題がなければそのまま合格予定者となります。A群の割合は、平均して募集定員の60%を占めています。

A群以外はすべてB群となりますが、B群は調査書の点数、記載事項、学力テストの点数等を総合的に判断して、合否が決められます。

ただし、すべての学科・コースが同じ条件で選抜されるのではなく、学力検査で一部の教科を加重配点したり、調査書で一部の教科を加重評価したりする学科・コース、もしくは「個性重視の特別試験」という面接・作文・実技などを別に実施する学科・コースもあります。

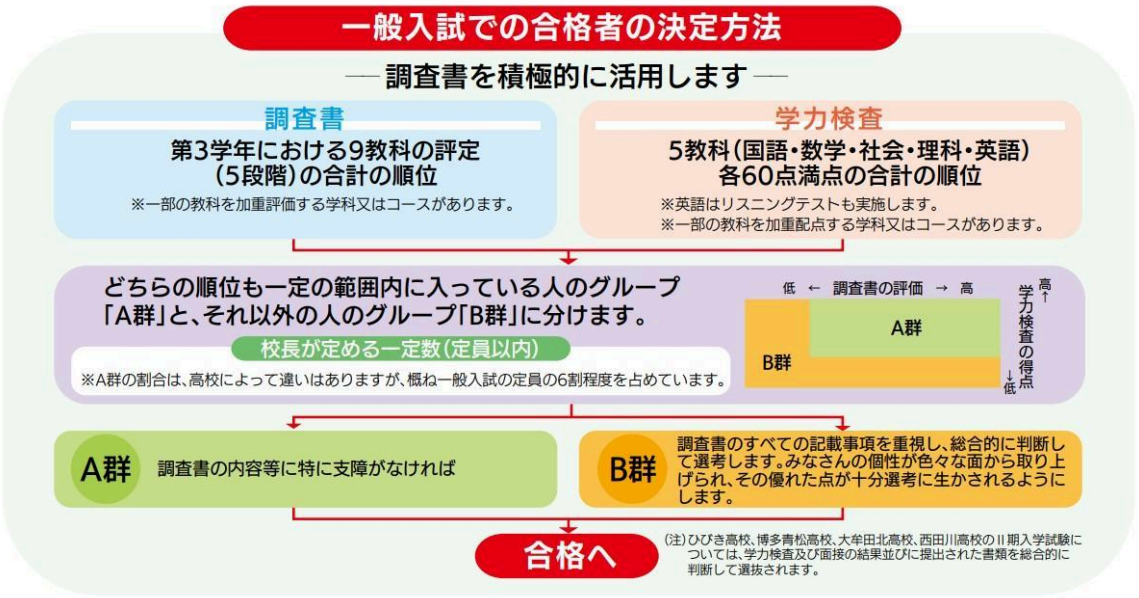
問題の形式としては、すべての科目で会話文形式の問題が出題されています。また、複数の資料から内容を読み取り、総合して答案を書かなければならない記述問題が増えています。

令和9年度　一般入試日程

入学願書受付	令和9年2月10日（水）～2月19日（金）正午
志願先変更受付	令和9年2月22日（月）～2月26日（金）正午
学力検査	令和9年3月9日（火）
合格発表	令和9年3月18日（木）午前9時

＝志願先変更とは＝

中学校から公立高校へ提出された入学願書をもとに、各公立高校の倍率が判明します。私立高校入試での合否や進路の再考から、一度提出した願書を取りやめ、志願先を変更できるシステムです。いざという時には、大いに利用すべきシステムです。



2. 問題の難易度

毎年、福岡県教育委員会が公立高校の全受験者の得点を集計し、全受験者の平均点を発表しています。その結果をまとめた一覧は、入試結果総評に記載していますので、ご覧ください。

3. 第2志望校制度の実施について

○中学生の進路選択の幅を拡げ、県立高校を志願しやすい環境をつくるため、一般入学者選抜において、全ての全日制高校に対する第2志望での志願を可能としています。(昨年までは一部学校のみ。)
※特色化選抜、推薦入学者選抜等では実施しません。
○第1志望校から学力検査の結果等を送付するので、改めて書類の提出や学力検査の受検等は必要ありません。
○第1志望校において合格とならず、第2志望校に欠員が生じている場合に限り、第2志望校で選考が行われます。
○第2志望校制度による志願は、県内全域から行うことができます。

4. 一般入試における加重評価・配点について

令和9年度は以下の県立高校の学科・コースで実施されます。

■調査書における特定教科の加重評価 学科やコースの特色に応じた教科の評定点が1.5倍されます。		■学力検査における特定教科の加重配点 学科やコースの特色に応じた教科の得点が1.5倍されます。	
保健体育の評定点を 1.5倍	北九州(普通科体育コース) 早良 (普通科スポーツコミュニケーションコース) 直方(普通科スポーツ科学コース) 三井(普通科スポーツ健康コース) 三潴(普通科スポーツ文化コース)	英語の得点を1.5倍	北筑・香住丘・久留米(いずれも英語科) 玄界(普通科国際文化コース)
		数学と理科の得点を 1.5倍	筑紫丘・明善・嘉穂・八幡・新宮・鞍手 (いずれも理数科) 城南(普通科理数コース) 香住丘 (普通科数理コミュニケーションコース)

※福岡県教育委員会「令和9年度入学者選抜における『特定教科の加重評価』及び『特定教科の加重配点』実施校一覧」より抜粋

■個性重視の特別試験

学科やコースの特色にふさわしい能力・適性・興味・関心などの多様な個性をみるために、面接・作文・実技などの試験が以下の学校の学科、コースで行われます。

＜令和9年度の実施校＞

地区	内容	学校・学科・コース
北九州地区	面接・実技	北九州高校（普通科体育コース）
	実技	八幡中央高校（普通科芸術コース）
	作文	若松高校（定時制課程普通科）
福岡地区	面接	糸島農業高校（園芸技術科、動植物活用科、食品科学科、生活科学科）
	実技	太宰府高校（芸術科）
筑後地区	面接・実技	三潴高校（普通科スポーツ文化コース）
	面接	八女工業高校（電子機械科、IT自動車科、電気科、情報技術科、工業化学科、土木科）
筑豊地区	面接・実技	直方高校（普通科スポーツ科学コース）
	作文	鞍手高等学校（定時制課程普通科）

※福岡県教育委員会「令和9年度福岡県立高等学校入学者選抜要項」より抜粋